

京都学習協の第12回集中セミナー 募集要項

申し込みは、このテーマを学びたいと思う方は誰でも参加できます。

申し込みの手続きは、簡単です。「申込書」に必要事項を記入し、受講料をそえて申し込んでください。FAXでも申し込みができます(受講料は当日お支払いください)。

講義時間は、午後1時～5時(休憩も含まれます)

受講料は、2,500円です。(税込み)

会場は、『京都学習会館』

(上京区堀川丸太町西一筋目上ル)です。

京都労働者学習協議会

電話(075)841-8141

FAX(075)821-3665



二・四輪共に駐車場はありません。

二条城市営駐車場へお願いします。

地下鉄丸太町駅・二条城前駅から

『京都学習会館』まで歩いて10分

以内です。

京都学習協の第12回集中セミナー 申込み日時				年	月	日
フリガナ				性別		年齢
氏名:				男・女		才
現住所:						
職場・学園:						
労働組合名:	(全国単産名:)					
電話: 職場()				自宅()		

「資本論」注文チェック

の分冊を注文します。

第12回集中セミナー



世界で「マルクス」が……。米外交専門誌『フォーン・ポリシー』誌2009年5-6月号に、「まったく現代的なマルクス」と題する論文が掲載されています。右の画像は表紙

マルクスから科学的社会主義を学ぼう

京都学習協の第12回集中セミナー

マルクスの「哲学思想」を学ぶ

マルクス著「資本論」第1巻にみる哲学思想

講師：牧野 広義・阪南大学教授

日時 2009年11月29日(日曜日)13時～17時

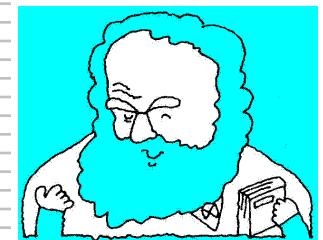
会場 京都学習会館

必ず持参すべき文献

マルクス著「資本論」新日本新書版 1～4分冊

京都学習協でも取り扱いますので、必要な方は申し込み用紙の下欄にチェックしてください。

受講料 2,500円



申込先は.....

京都労働者学習協議会 〒602-8147京都市上京区堀川丸太町西一筋目上ル『京都学習会館』内

電話(075)841-8141 FAX(075)821-3665

マルクスの哲学思想を学ぶ

『資本論』第1巻にみる哲学思想
牧野 広義

今日、「グローバル恐慌」や「世界恐慌」と呼ばれる世界経済危機が進行しています。この中で、中小企業の倒産や経営危機が進行し、大企業も大量の労働者を解雇しています。若者の就職難も深刻です。まさに資本主義の矛盾が吹き出しています。

このような現実のもとで、世界中で「変革」が合い言葉になっています。そして日本でも世界でもマルクスの『資本論』や彼の「変革」の思想が注目されています。それは、マルクスが資本主義の矛盾を暴き出し、労働者や国民のたたかいの方向を示したからです。私たちは、運動を広げいっそう発展させるうえで、具体的な知識とともに、マルクスの「ものの見方・考え方」も学ぶ必要があります。

この講座では『資本論』からマルクスの哲学思想を学びます。『資本論』は経済学の古典ですが、同時にそこには豊かな哲学思想がつまっています。

その「序文」では、弁証法や史的唯物論の核心が語られます。

商品や貨幣の分析では、弁証法的方法が駆使されて、貨幣の生成の必然性が解明されます。その中で、マルクスが「物神崇拜」と名づけた貨幣崇拜なども描かれます。また「自由な人間たちの連合社会」という将来社会の話まで出てきます。

資本のもうけ（剰余価値の生産）の仕組みの解明では、資本が「主体」となって労働者を搾取する仕組みが解明されます。ここでは、資本とは何かをめぐる理論的な難問（矛盾）を解明する中で、資本による労働の搾取と長時間労働という現実的矛盾が暴き出されます。そして資本主義的な自由・平等の

欺瞞性が暴露されます。

労働時間をめぐる議論は、まさに「階級闘争の弁証法」の展開です。そのたたかいのなかで成立した「工場法」を、マルクスは労働者の「マグナ・カルタ」だと言います。労働時間の短縮と自由時間の獲得こそが労働者の人権の出発点となりました。

資本主義的生産様式の発展としての、協業・分業・マニファクチュア・大工業の展開では、資本の専制のもとでの労働者の「疎外」が具体的に論じられます。またマルクスは、資本主義的生産は人間を破壊するだけでなく、自然をも破壊することを論じます。マルクスの議論の中には今日の環境問題を考える重要な手がかりがあります。

さらに、資本主義的搾取によってつくり出された富が労働をいっそう搾取する資本として機能し、富の蓄積と貧困の蓄積が進みます。ここでは今日の「貧困」と「格差の拡大」を解明する論理が語られます。

しかしマルクスは、資本主義的生産の発展は、同時にその変革のための物質的条件を形成することも明らかにします。そして簡潔にですが、将来社会への展望も語られます。

この講座ではマルクス『資本論』第一巻をテキストにして学びます。また牧野広義『『資本論』から哲学を学ぶ』（学習の友社、2007年）も参考にいただければ幸いです。ここから、唯物論、弁証法、史的唯物論、反映論、自由・平等論、人権思想、環境問題、将来社会論など、マルクスの哲学を学びたいと思います。

多くの皆さんの参加を呼びかけます。

